

## 大和リサーチパーク造成事業 事後調査結果総括表（参考資料）

事後調査項目		報告書対応頁		予測評価内容等			調査結果等		
環境項目	環境影響要素	位置図等	結果総括表等	予測結果	環境保全目標	環境保全措置	調査時期等	調査結果	環境保全措置の見直し等
大気質	建設機械の稼働に伴う粉じん	p17	p21	No.4 : 1.3(t /km <sup>2</sup> /月) No.8 : 3.4(t /km <sup>2</sup> /月)	10 t /km <sup>2</sup> /月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかな転圧及び早期緑化。</li> <li>・早期の散水。</li> <li>・仮囲い(防砂ネット)の設置。</li> <li>・工事中のモニタリング。</li> </ul>	H20.1.6.9 H21.1.5	【p.21】表 6.1.1-8 No.4 : 1.37 t /km <sup>2</sup> /月(最大値) No.8 : 1.36 t /km <sup>2</sup> /月(最大値)	-
騒音	建設機械の稼働に伴う騒音	p23	p26	No.6 : 62 dB No.7 : 62 dB No.9 : 58 dB	85 dB	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低騒音型の使用と建設機械の分散。</li> <li>・建設機械の稼働中は無理な負荷をかけない。作業時間の厳守。</li> <li>・老人ホーム西側における別途稼働計画の設定。</li> <li>・工事中のモニタリング実施。</li> </ul>	H20.12	【p.26】表 6.2.1-7 No.6 : 61.9 No.7 : 59.5 No.9 : 56.7	-
振動	建設機械の稼働に伴う振動	p30	p33	No.6 : 52 dB No.7 : 52 dB No.9 : 52 dB	75 dB	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働建設機械を集中させない。</li> <li>・建設機械の稼働中は無理な負荷をかけない。また、作業時間を厳守する。</li> <li>・老人ホーム西側の盛土区域における別途稼働計画を設定。</li> <li>・工事中のモニタリング</li> </ul>	H20.12	【p.33】表 6.3.1-7 No.6 : 18.1 No.7 : 14.6 No.9 : 20.8	-
水質	工事中の土砂等による水の濁り (SS)	p33	p38	No.3 : 32 mg/l	100 mg/l	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の段階的の施工及び法面の早期緑化。</li> <li>・土砂流出防止柵, 沈砂池・調整池の設置。</li> <li>・工事中(降雨時)のモニタリング</li> </ul>	H20.5 ~ H21.10 (計7回)	【p.38】表 6.4.1-4 H20.5 : 150mg/l H20.8 : 170mg/l H20.10 : 55mg/l H21.4 : 180mg/l H21.6 : 15mg/l H21.6 : 11mg/l H21.10 : 31mg/l	(H20.5以降) ・沈砂池の増設 ・粉じん低減剤 (H20.8以降) ・水路, 仮沈砂池の設置 ・縦排水溝透水マットの増設 (H21.4以降) ・種子の散布

大和リサーチパーク造成事業 事後調査結果総括表（参考資料）

事後調査項目		報告書対応頁		予測評価内容等			調査結果等																																																					
環境項目	環境影響要素	位置図等	結果総括表等	予測結果	環境保全目標	環境保全措置	調査時期等	調査結果	環境保全措置の見直し等																																																			
動物	工事の実施 ～ 土地又は工 作物の存在 及び供用	p43 ～ p46	p77 外	・環境保全措置によって良好な生息域が確保され、個体数が維持される。	良好な生息域の確保、個体数の維持	<b>【回避・低減】</b> ・周辺森林との連続性の確保による残置森林の分断・孤立化の防止 ・郷土種の植栽による早期の植生回復・創出 ・林縁植物の保護管理による林縁部の生息域の確保 ・施工時期等の配慮による繁殖・採餌行動の阻害防止 ・周辺水域の保全による水生動物の生息域の保全 ・残置森林への立ち入り防止等 <b>【代償措置】</b> ・重要種の代替生息地への移植	・移植先確認調査 H19.4～7 ・移植 H19.5～6 ・定着状況確認 H20～22年 (4～8月)	<b>【p.77】表 6.5.1-8</b> (両生類) ・移植対象種4種の生息を南側および西側残置区域にて確認 (昆虫類) ・移植対象種4種、新規確認種1種のうち3種の生息を南側残置区域にて確認 (魚類・底生動物) ・移植対象種3種、新規確認種2種のうち4種の生息を南側残置区域および地域外溜池にて確認	-																																																			
猛禽類	工事の実施 ～ 土地又は工 作物の存在 及び供用	p98 p182 ～189 p197 外	p99 p196	・環境保全措置によって営巣環境が維持・保全される。 <b>【オオタカ繁殖期行動圏面積(評価書)】</b> ・最大行動圏：918.75ha ・95%行動圏：712.50ha ・高利用域：243.75ha ・営巣中心域：56.25ha	営巣環境の維持・保全	<b>【回避・低減】</b> ・工事工程の配慮 ・工事車輛・使用機械の配慮等	・繁殖状況調査 H19～H22 (5～7月) ・行動圏調査 H19～H22 (2～7月)	<b>【p.99】表 6.5.2-3(繁殖状況)</b> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">H19</th> <th colspan="3">H20</th> <th colspan="3">H21</th> <th colspan="3">H22</th> </tr> <tr> <th>N1</th><th>N2</th><th>N3</th> <th>N1</th><th>N2</th><th>N3</th> <th>N1</th><th>N2</th><th>N3</th> <th>N1</th><th>N2</th><th>N3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オオタカ</td> <td>○</td><td></td><td></td> <td>○</td><td></td><td></td> <td>○</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>サシバ</td> <td></td><td></td><td></td> <td>○</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td>○</td> </tr> </tbody> </table> ○:繁殖確認 <b>【p.196】表 6.5.2-18(生息状況)</b> 最大行動圏：493.75～756.25ha 95%行動圏：343.75～587.50ha 高利用域：100.00～275.50ha 営巣中心域：25.00～37.50ha		H19			H20			H21			H22			N1	N2	N3	N1	N2	N3	N1	N2	N3	N1	N2	N3	オオタカ	○			○			○						サシバ				○								○	-
	H19			H20			H21			H22																																																		
	N1	N2	N3	N1	N2	N3	N1	N2	N3	N1	N2	N3																																																
オオタカ	○			○			○																																																					
サシバ				○								○																																																

大和リサーチパーク造成事業 事後調査結果総括表（参考資料）

事後調査項目		報告書対応頁		予測評価内容等			調査結果等																		
環境項目	環境影響要素	位置図等	結果総括表等	予測結果	環境保全目標	環境保全措置	調査時期等	調査結果	環境保全措置の見直し等																
植物重要種	工事の実施～土地又は工作物の存在及び供用	p201	p234	・良好な生育域が確保され、個体数が維持される	良好な生育地の保全、個体数の維持	<b>【回避・低減】</b> ・周辺森林との連続性の確保による残置森林の分断・孤立化の防止 ・郷土種の植栽による早期の植生回復・創出 ・林縁植物の保護管理，不法投棄の防止による林縁部の生育域の確保および生育環境の保全 ・工事工程への配慮 ・過負荷運転の防止による排気ガスや粉じんの発生量の抑制 ・残置森林への立ち入り防止等 <b>【代償措置】</b> ・重要な種の代替生育地への移植	・移植先確認調査 H19.4～7 ・移植 H19.5～8 ・定着状況確認 H20～22 （春～夏）	<b>【p.234】表 6.6.1-6</b> ・移植対象種13種，新規確認種2種のうち14種の生育を南側および西側残置区域，地域外溜池，蛇石せせらぎの森にて確認。	(H21以降) ・サクラソウについて採掘防止のための看板を設置。																
植物残地森林	工事の実施～土地又は工作物の存在及び供用	p247 p248	p252	・良好な生育域が確保され、個体数が維持される	・重要な種の保全 ・周辺地域と連続性のある生息環境の保全	<b>【回避・低減】</b> ・周辺森林との連続性の確保による残置森林の分断・孤立化の防止 ・郷土種の植栽による早期の植生回復・創出 ・林縁植物の保護管理，不法投棄の防止による林縁部の生育域の確保および生育環境の保全 ・工事工程への配慮 ・過負荷運転の防止による排気ガスや粉じんの発生量の抑制 ・残置森林への立ち入り防止等	・残地森林調査 H19～21 （毎年9月）	<b>【p.252】表 6.6.2-6</b> （各調査区における確認種数） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コナラ二次林①</td> <td>56</td> <td>55</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>コナラ二次林②</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>スギ植林地</td> <td>46</td> <td>45</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	コナラ二次林①	56	55	50	コナラ二次林②	59	59	44	スギ植林地	46	45	41	-
	H19	H20	H21																						
コナラ二次林①	56	55	50																						
コナラ二次林②	59	59	44																						
スギ植林地	46	45	41																						

## 大和リサーチパーク造成事業 事後調査結果総括表（参考資料）

事後調査項目		報告書対応頁		予測評価内容等			調査結果等		
環境項目	環境影響要素	位置図等	結果総括表等	予測結果	環境保全目標	環境保全措置	調査時期等	調査結果	環境保全措置の見直し等
生態系	工事の実施～ 土地又は工作物の存在 及び供用	p257	p259	・生態系の重要な要素である里山環境は保全される	・生態系の重要な要素である里山環境の保全	<b>【回避・低減】</b> ・残置森林・緑地帯の配置 ・緑地帯の配置 ・早期の植生回復・創出 ・横断誘導植栽による移動経路の確保 ・夜間照明への配慮による夜行性動物の活動阻害防止 ・施工開始時期の配慮 <b>【代償措置】</b> ・巣箱架設による営巣地の確保 ・重要な種の代替生息生育地への移植	・巣箱架設 H22.2 ・生息状況調査 H22.10	<b>【p.259】表 6.7.1-4</b> ・30個中3個の利用が確認された。	-